

Ⅱ. 経営方針

1. 経営理念

◆ スローガン

つなぐ、はぐくむ、あなたの未来へ。 JA北九

【意図】

『つなぐ』は、

人と人とのつながり、人・組織・地域とのつながりを深めて、食と農を結び、将来にわたって地域の社会に貢献していくとともに、新生JAとしての新たな覚悟を表しました。

- ・組合員と組合員、組合員や組合員組織とJA北九、JA北九と地域をつなぐ
- ・三位一体の力を発揮するため、3JAの地区や資源をつなぐ
- ・協同の精神や行動を未来へつなぐ

『はぐくむ』は、

人づくり、モノづくり、地域づくり、つまり、農業の担い手や高い能力を持つ職員の育成、地域農業の振興、地域密着活動などにより、組合員のくらしの向上、食料や自然環境への貢献、JAの信頼や経営基盤の拡大をしていく姿勢を示しました。

『あなた』は、

絆を深め育てていく第一義の対象である、組合員、地域住民、役職員を指しています。また、その集合体である、組合員組織、地域社会、JA組織、さらに、広く農村・自然環境、国家、農業を指します。

『未来』は、

農業協同組合には、組合員の財産や広く国民の農業、食料、自然環境、さらには生命（いのち）を守りはぐくむ使命があります。

この未来という言葉は、長い時間を見据え継続していく「運動体」としての姿勢を指します。

◆ 行動指針（ミッション4か条）

JA北九は、

1. 組合員の営農とくらしの向上に貢献します。
2. 地域農業の振興に努め、食料、環境に対する使命を果たします。
3. 人と人との絆を深め、事業を通じて地域に貢献します。
4. 事業運営の信頼性を高め、健全経営に努めます。

【意図】

1. は、「組合員」のための営農指導事業や生活・その他各種の事業により、農業協同組合の運動体として使命を全うし、組合員のしあわせのために貢献していくことを謳っています。

2. は、本来的な使命である地域の農業振興と、併せて、食料、自然環境に対する使命を果たすことを謳っています。

3. は、人を大切にし、人と人とのつながり、人・組織・地域とのつながりを深めて、地域の社会に貢献していく、新生JAとしての新たな覚悟を謳っています。

4. は、リスク管理、コンプライアンス遵守、利用者保護等、社会的責任（CSR）の発揮に努め、経営基盤の充実のため健全な経営を続けていく姿勢を謳っています。

2.経営方針

◆基本方針

『不断の改革の推進』

～不断の改革を推進し、食と農・地域を未来につなごう～

令和2年度は、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合としての総合力を発揮し、地域に必要とされるJAとして、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を目指し、さらなる自己改革【不断の改革】を推進し、「農業所得の増大・農業生産の拡大」「地域の活性化」「組合員のアクティブ・メンバーシップの確立」に取り組みます。

JA経営は営農経済事業の赤字を信用・共済事業収益や事業管理費削減によるトータルで事業利益を確保する構造を変化させることが求められていることから、環境変化に対応した事業モデルへの転換等を推し進め、将来を見通した対応として、事業・経営上の課題を洗い出し、自らの経営基盤強化に向けた施策を検討し、計画に反映・実践していきます。

さらに事業モデルの転換等により販売事業を中心とした事業伸長と、すべての事業にわたる効率化や生産性向上に取り組みます。

また、深刻な状況を迎えた今後の安定経営基盤確立については、事業の収支構造転換を進めるとともに、支店・事業所施設の再構築及び事業運営の効率化に取り組み、経営資源（人材・施設・投資）の最適化を図り「持続可能な経営基盤の確立・強化」に努めます。

また、本年は、通常的环境を前提に事業計画を策定していますが、新型コロナウイルス流行の影響は、その範囲や規模が現段階では見通せない状況であり、事業計画が大幅に未達となることも予想されますが、この大きな課題に対して役職員一丸となり事業運営に努めていきます。

◆重点事項

◇営農部門

JAの使命である「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」に向けて、営農部門一体となって組合員の営農活動を支援し、地域農業を支えていきます。

営農事業では、TAC（担い手に向く担当者）による担い手経営体の情報を収集し、関係部署間との情報を共有・連携し営農支援に取り組みます。

また、組織活動を通じて組合員や地域との深耕を図り、さらなる地域の活性化に貢献します。

販売事業では、農業者が安定的に所得を確保できる基盤を構築する為、県北CC※の活用、消費者・実需者の需要に応える販売、統合生産部会組織（稲作部会、野菜部会、花き部会）の活動支援等に取り組みます。

※県北CC・・・県北コントロールセンター

◇直売部門

農産物直売所を核とした安全・安心の提供と、地産地消の強化、販売強化による農業者の所得増大、農業生産の拡大とともに、魅力ある店舗づくりのための品揃え充実を図り販売高向上を目指します。

また、農産物直売所・移動購買を通じて地域住民への貢献・地域の活性化に努めます。

◇経済部門

生産資材価格の抑制による農家組合員への営農支援および地域の皆様へ安全・安心な生活資材の供給支援に取り組みます。

また、内部統制の継続的な強化による事務堅確性のさらなる向上を図り、信頼され安心して利用される購買店舗づくりに努めます。

◇葬祭部門

多様化する利用者ニーズに合わせたサービス提供や家族葬プランの構築を行うとともに、地域に必要とされる葬祭事業を展開し、利用者満足度の向上に取り組みます。

また、葬儀施行を通じて、生花・仕出の取扱高拡大や効率的な事業運営を進めるために斎場相互間の連携強化を図り、安定経営基盤の確立を目指します。

◇審査開発部門

JA総合事業を活かした地域貢献を目指し、事業伸長と内部統制の強化に対応した体制の確立及び担当職員の人材育成に取り組みます。審査・保全業務では、長期的に安定した安全な収益確保に向けた取り組みを行います。

不動産事業では、組合員及び地域住民の幅広いニーズへの対応と利用者の資産の有効活用に貢献するため、事業地域の拡大と事業量拡大に取り組みます。

◇金融推進部門

継続的な自己改革の実践に取り組むと共に、組合員・利用者の事業とくらしを支援し、多様なニーズに対応するため、金融・共済商品の提供を通じて、地域に必要とされる店舗展開に取り組みます。

また、地域に信頼される事業展開に向け、次世代層との繋がり強化や利用者ニーズに沿った推進活動に取り組み、経営基盤の確立を目指します。

◇金融業務部門

依然として厳しい社会・経済情勢が続く中、担当職員の人材育成を中心として組合員・地域住民に選ばれるJAを目指すために各課一丸となって行動します。収益の柱である信用事業においては事業環境の著しい変化に対応するため、調達資金の金利構成の見直しを行い、経営基盤の強化に向けた取り組みを行います。

また、共済事業においても短期共済の積極的な展開を図り長期共済・短期共済の均衡のとれた収益構造を目指します。さらに、担当部署による臨店指導により事務堅確性の向上を目指し、内部統制のとれた態勢を整え、不祥事未然防止に向けた取り組みを行います。

◇経営企画部門

「持続可能な経営基盤の確立・確保」のため、当JAの収支構造の転換を推し進めるとともに、事業運営の拠点となる施設の在り方について見直しに取り組みます。

また、JAの信頼性・健全性の向上のため、内部管理体制のさらなる強化と経営の信頼性確保を実施して行きます。

◇総務部門

営農指導員・経済部門職員の育成強化、協同組合運動者としての自覚と使命を再認識させる教育を行い、働き方改革をひまえた経営環境変化への対応を進めます。

また、組合員のメンバーシップ強化に取り組むとともに、施設の再構築・有効活用を進めます。会計監査人監査に対応した内部統制の整備を図ります。持続可能な経営基盤を強化するため、適正な余裕金運用と事業管理費の削減に取り組みます。

◇監査部門

JA経営の健全性の向上、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化に資する内部監査の実施に努めます。

また、会計監査人監査に対応する内部統制の構築に向けた内部監査に取り組みます。